



手遊びと絵本を楽しもう



沐浴を体験してみよう

実習直前
対策講座



0～2歳児対象「ちょこっと遊びからパラバルーンまで」



つくって遊ぼう「3～5歳児のコマを作ってみよう」

CONTENTS

2021年度 聖句

「主において常に喜びなさい。
重ねて言います。喜びなさい。」
(フィリピの信徒への手紙第4章4節)



2021年度の和泉の歩み	2
地域連携推進センターの取り組み	3
TOPICS (クリスマスイベント 他)	4
入学前教育 他	5

2021年度の和泉の歩み

学長 佐藤 守男



新型コロナウイルス
ウィルス感染が
広まってもう2
年余りとなりま
す。「明けない
夜はない」とい
いますが、どこ

までこの新型コロナウイルスの感染は続
くのでしょうか。まだまだ暫くはこのウ
イルスと人間との根比べは続きそうです。

ところで、和泉短期大学は2022年
5月15日で創立66周年を迎えます。卒業
生は19,821名(2022年3月)と
なり、そのほとんどが、相模原市および
その周辺の自治体にある施設、保育所、
幼稚園、認定こども園等で働いています。
しかもこのコロナ禍にありましても、卒
業生たちの多くは、エッセンシャルワー
カー(日々の生活を維持していくために
新型コロナウイルスの感染リスクを感じながらも
現場で働き続けている方々)として、素
晴らしい働きをしています。

さて、昨年(2021年度)も4月
25日から9月30日まで緊急事態宣言が発
令されました。本学は、感染対策を図り
ながら、いつ授業が止まっても対処でき
るように、情報端末と学内ネットワーク
環境を整備し、いつでも遠隔授業ができ
るように備えてきました。

しかし、本学は本来、人と関わる専門

職(保育職・介護職)を養成する短期大
学ですので、対面授業でしか伝わらな
いものもあり、このコロナ禍にありま
しても対面授業を大切にしてきました。
2021年度も、対面授業とオンライン
授業を組み合わせた「ハイブリッド型授
業」を進め、前期の授業を終えています。

8月に入ってから感染者の多さにはいぶ
ん戸惑いましたけれども、ちょうどその
頃「社会福祉法人さがみ愛育会」からワク
チン接種の声をかけていただきました。
1回目を9月1日・2日、2回目を
9月29日・30日に本学体育館において、
和泉の学生、教職員およびその関係者に
ワクチン接種することができました。も
ちろん、ワクチン接種は強制ではなく、
希望者のみであります。

8月の教授会において、「本学の学生、
教職員のワクチンの接種率が70%を超え
たら、フル対面授業に戻そう」という事
が話し合われ、幸いにも80%を超える接
種率となりましたので、一か月ほどリバ
ウンドの様子をみた上で、11月より思い
切ってフル対面授業(通常授業)を行うこ
とにしました。

フル対面授業(通常授業)に戻すことに
は、いろいろな面で不安もありましたが、
1年7か月ぶりに和泉本来の授業に戻
り、仲間との交流の中で学び合える学生
たちにとっては、大変有意義なことだっ

たと思います。

その後ワクチン接種の効果があつたの
でしょうか、11月と12月は嘘のように感
染者が少なくなっていました。しかし、
安心したのも束の間、今度は新型コロナウイルス
の変異株、オミクロン株が世界
中で猛威を振るい始めました。日本にお
きましても年末からのクリスマス、正月、
成人式と、人流が増すごとに感染者が猛
烈な勢いで増えていきました。私達和泉
の教職員は何とか2年生、専攻科生に卒
業、修了してもらい、1年生には1月と
2月の保育・施設実習を何とか体験させ
てあげたいと、神様に祈る思いでいつぱ
いでした。

また、9月には7年に一度課せられて
いる認証評価がありました。本学は今回
で2007年度、2014年度に続き3
度目となります。2021年度もコロナ
禍にありましたので、オンラインでの認
証評価となり、9月6日、7日の二日間、
4人の評価員によって行われました。本
学と致しましては、教職員全員で十分に
準備をし、認証評価に臨んだつもりです。
そして12月末に「機関別評価結果(案)」の
内示があり、一般財団法人大学・短期大
学基準協会の定める短期大学評価基準を
満たしているという事で、「適格」と認め
られています。なお、正式な評価結果は

3月下旬ごろとされていますが、課題が
示されましたら、早急に対処したいと
思っています。

また、10月には和泉にとって大事な決議
がなされました。それは介護福祉士資格の
取得希望者が減少し、それに伴い本学専攻
科への進学希望者も僅かずつ減ってきてい
ました。そのため、数年前より、「専攻科の
存続について何度も検討を重ね、2023
年度の入学生を最後に、専攻科の学生募集
を停止することとなりました。

なお、専攻科への進学を希望している
新2年生(2022年4月現在)につきま
しては、学生募集停止には該当いたしま
せんので、奮って応募していただきたい
と思います。

最後に、11月の理事会におきまして、
次期学長の選考があり、審議の結果、私
が再任されました。現在のわが国の高等
教育機関を取り巻く環境は多様化し、し
かも1992年の18歳人口は205万人
あったものが、2022年にはその約半
分の112万人に激減するこの時期に、
学長職を仰せつかったことは、大変責任
のあることであり、その重さを強く受け
止めているところです。

和泉を少しでも魅力ある短期大学にした
いと思っていますので、皆様方のご支援ご
協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地域連携推進センターの取り組み

地域にねぎし、地域とともに歩む大学を目指して

地域連携推進センター長・教授 鈴木 敏彦



大学の役割には、①教育、②研究、③社会貢献地域貢献、生涯学習拠点、産学官連携等）があります。

和泉短期大学地域連携推進センターは、本学の社会貢献を担う部門として、「地域密着型大学」を目指すべく2017年4月に発足いたしました。また、本学は相模原市と「包括連携協定」を締結し、本学の特色を活かし行政との協働事業を進めています。

現在、センターでの取り組みの柱としては、①子育て支援プログラム（はっぴい/すまいりい）の実施、②学生のボランティア活動の支援・情報提供、③児童虐待防止推進の「オレンジリボン」活動、④「ユニコムプラザ（相模原市立市民・大学交流センター）」への参画、⑤「さがまちコンソーシアム（相模原・町田大学地域コンソーシアム）」への参画等が挙げられます。

コロナ禍で強調されている「ソーシャル・ディスタンス」は感染予防の上では大変重要なことですが、他方で人々のつながり、社会のつながり等の脆弱化をも

たらしたことも否めません。「つながり」を大切にする当センターの活動もコロナ禍により、大きな制約を受けています。しかし、できないことを数え上げるのではなく、できることを考え、実践し「地域にねぎし、地域とともに歩む大学」を目指してまいりたいと思います。



キャリアデザインセンターで絵本の学びをすすめる学生たち

人・モノ・思いがつながる子育て支援の場「はっぴい」&「すまいりい」

地域連携推進センター委員会委員・准教授 久保小枝子



キャンパスに響く子ども達の活発な声、笑顔溢れる親子の遊ぶ姿が見られないまま、

2020年度、2021年度、地域の子育てひろば「はっぴい」(月1回土曜開催)、「すまいりい」(週1回木曜開催)の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い休止状態になりました。専門的な知識と人材、良質なおもちゃや絵本が揃う保育者養成のある本校において、地域の親子に子育てひろばを開催し続けている意味は大きいと考えています。

これは、地域の親子にメリットがあるだけではなく、保育を専門的に学ぶ学生にとっても、大きなメリットがあります。キャンパス内にいながら、乳幼児期の子どもの発達を自分の目で確かめ、日頃の授業と結びつけて子どもを観察したり、話しかけたり、一緒に遊ぶことができるからです。学生は保育所や幼稚園に実習に行きますが、「上手くやらなければ」とこが評価が気になることでしょう。しかし、このキャンパス内でリラックスして親子に関われること、いつも慣れ親しんだ教員や支援者のサポート体制の中で子どもと身近に関われるのですから、学生にとって「良いこと尽くめ」です。

しかし、今年度も開催できず暗中模索していた5月、子育てひろばでも大人気の絵本作家エリック・カール氏が91歳で天に召されたニュースが飛び込んできました。代表作『はらぺこあおむし』(偕成社)で知られる穴あきのしかけを凝らした斬新な絵本は、45年間、日本の子ども達に親しまれ続けてきました。もちろん、学生にも大人気の絵本です。

そこで、エリック・カール氏への追悼と感謝の気持ちを込めて「はっぴい」ボランティア学生の2年生が中心となり「エリック・カールのちいさなてんじかい」を開催することになりました。その開催に伴い、子育てひろばの会場であるキャリアデザインセンターにエリック・カールの翻訳刊行されている絵本34冊を新たに購入しました。

学生達は、豊かな色に彩られ、ユニークな動物や人が描かれた絵本に夢中になりました。お気に入りの絵本のポップを作りました。また、エリック・カール氏について、調べ学習をして展示会に至りました。今年度は、学内の者への展示会に留まりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きましたら、再度、開催致しますので是非お立ち寄りください。

今後も相模原の地域に根ざし、人・モノ・思いがつながりあう場としての役割を果たしていきたいと願っております。

TOPICS

児童福祉研究「いっしょに子育て」第4号刊行

本学の「児童福祉研究室」は、地元住民の皆様と子育ての悩みを共有し、支援していくことを目的に、年1回「いっしょに子育て」を発行しています。

2021年度の児童福祉研究「いっしょに子育て」第4号を刊行いたしました。創刊号から第4号まで、本学Webページ「地域・一般の方へ」の中にある「児童福祉研究室」のページからご覧になれます。

児童福祉研究室では、今後も地域の保育・福祉に貢献する情報を発信してまいります。



第9回 折り紙作品コンテスト表彰式

2021年11月8日(月)和泉クラーク・ホールにおいて第9回折り紙コンテストの表彰式が行われ、佐藤守男学長より入賞者に表彰状と記念品が授与されました。

学生、教職員、11月に行われたナイトミニオープンキャンパス参加者による投票の結果、最優秀賞に選ばれたのは、「ケーキ」でした。細かく作りこまれたケーキに、たくさんの動物たちが食べに並んでいる可愛らしい姿が票を集めました。

優秀賞の作品は、シンプルかつ繊細な作りと色合い・華やかさで人気を集めた「華燭」が高い評価を得ました。準優勝の「ひまわり畑」は、たくさんのひまわりから夏を感じる作品で、元気をもらえたとの投票者のコメントが多く寄せられました。特別賞の「梅雨の和傘屋」は、和柄の折り紙で丁寧に作られた、和の雰囲気を感じさせる作品です。



最優秀賞(ケーキ)

市民大学 2021年後期講座開催

2021年11月1日(月)と12日(金)の2日間、市民大学を開講しました。

講師は専攻科介護福祉専攻の出村由利子特任准教授が務め、「自分の感覚を信頼する」と題した対面での講座です。

11月1日は「感じることで、そして感覚の進路を広げる」、11月12日は「絵本や童話の世界から学ぶ」をテーマとして開催しました。受講生からは「2回の講義で終わるのはもったいない」「もっと講義を聞きたかった」等の嬉しい声をいただきました。

市民大学はさがまちコンソーシアム事務局が運営しており、市民が大学・専門学校等で教授・講師の講義を受けられます。



学生食堂が神奈川県からマスク飲食実施店として認証

2021年11月9日(火)和泉短期大学学生食堂が、マスク飲食実施店に認証されました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、2020年4月から学生食堂としては営業を見合わせてきましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、座席間隔の確保、マスク等着用、手洗い・手指の消毒、座席等の消毒、十分な換気、提供スタッフの検温の実施、出入り口の消毒液の常備を徹底することによりMASKの認証を受けました。

今後も学生が安全・安心して食事ができるように、これからも感染症対策を徹底してまいります。



スクールバスにオゾン発生装置を設置

11月から通常の対面授業が始まり、学生の安全・安心を第一に考えて登校できるように、新型コロナウイルス感染症防止対策として本学スクールバス(大型3台、中型1台)の天井にオゾン発生装置を設置しました。

オゾン発生装置は発生したオゾンエアコンから吸い込み、車内の座席上のエアコン吹き出し口から排出します。

新型コロナウイルスのほかインフルエンザウイルスやノロウイルス除菌等にも効果があります。



クリスマスイベント

●アドベント礼拝

11月29日(月)クリスマスを待ち望む、アドベント礼拝をおささげしました。

昨年までは、クリスマスツリー点火祭を行っていましたが、今年はこのアドベント礼拝の際にツリーの電飾を灯しました。(11月29日)和泉短期大学のクリスマスツリーは、学生が心を込めて手作りした彩り豊かなオーナメントが飾り付けられていることが大きな特徴です。「光が輝くとき」と題して坂井悠佳チャプレンが説教されました。お話と、パイオルガンの荘厳な音色、そして学生が作り上げたオーナメントで彩られたクリスマスツリー。そのすべてが織りなす、和泉ならではのやさしさに満ちたアドベント礼拝は、まさにクリスマスに向けて光が輝くときとなりました。

礼拝後には同窓会の皆様からのプレゼント(クリスマスクッキー)をいただき温かな気持ちになる、そんなアドベント礼拝の一日でした。



●クリスマス礼拝

イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝。今年度は、12月6日(月)・12月13日(月)の2回おささげしました。本学では、今年度後期から、集まる人が密集しないように、和泉クラーク・ホールでの礼拝を、教室でも視聴できるようにリアルタイム配信してきましたが、クリスマス礼拝も同様に2週にわたり、2回のクリスマス礼拝をお捧げできる仕組みでおこなわれました。

1回目は、本学の坂井悠佳チャプレンが、「クリスマスプレゼント」と題してお話しされました。2回目は、日本バプテスト連盟ふじみキリスト教会協力牧師である犬塚修先生をお招きして、「おめでとう、マリア」と題してお話しいただきました。

いずれの礼拝も、本学非常勤講師の千葉仁先生の指揮により、学生のハンドベルクワイアが素敵な音色で賛美しました。

保育・福祉を学ぶ本学学生と学びを支える教職員、その一人ひとりが、クリスマスの真の意味を受けとめる、私たちが神様に愛されている存在であることを重ねて覚える、そのような喜びの時となりました。



●「クリスマスフェア」開催

12月6日(月)「クリスマスフェア」を開催しました。(通算27回目)。「創立記念フェア」(5月)、「サマーフェア」(7月)は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学生食堂は営業休止していたため特別メニューの「お弁当」の提供となりましたが、11月より学生食堂が再開し、お弁当の他、コロナウイルス感染予防に配慮しながら学生食堂でも食事を提供することができ、140食の食事はあっという間に完売となりました。

イベント内容

- ・100円ランチ…「クリスマスオムライス」「チキンのブラウンシチューライス」
- ・キャンパスコンビニ 商品20% OFF、先着70名にプレゼント(300円以上)、お楽しみくじ



2022年「教職員新年礼拝」

和泉短期大学では、年の初めにまず礼拝があります。2022年1月6日(木)和泉クラーク・ホールにおいて、教職員、協力会社の方たちが一堂に会して「教職員 新年礼拝」をおささげしました。

坂井チャプレンより「献げたその先に」と題して説教があり、続いて、伊藤理事長、佐藤学長より年頭の挨拶がありました。

新しい年が神様によって守られるよう祈りを合わせるとともに、学生一人ひとりを支える働きの喜びを確認する時となりました。



2021年度 入学前教育

稲葉 結衣さん (神奈川県立麻溝台高等学校)



遠しいです。

新型コロナウイルスの影響で同級生と話すことができなかつたのは残念でしたが、入学後にたくさんの人と話したいと思いました。

入学してからは、慣れないことばかりで大変だとは思いますが、何事にも主体性を持って取り組みたいと思います。私はピアノが苦手なので、たくさん練習をして上手く弾けるようにしていきたいです。

新しい環境で不安も少しありますが、同じ夢を持った仲間と協力しながら濃い2年間を過ごしていきたいです。



矢作 彩寧さん (神奈川県立橋本高等学校)

新型コロナウイルス感染拡大による未曾有の事態の中、入学前教育を受講できたこと、大変嬉しく思います。

第2回入学前教育は残念ながら中止となつてしまいましたが、入学する前に和泉短期大へ足を運ぶことで、今までとは違った通学路や学校の雰囲気に触れることができ、早く和泉で頑張りたいと意欲が湧いてきました。入学前のこの貴重な時間を使って課題や今できることを一杯頑張りたいと思っています。

入学後は講義や勉強はもちろん、保育に関するニュースや本を読み、理解を深め保育の現場で通用する力をつけ自分のものにしていきたいと思っています。

2年間という短い時間の中で社会に貢献できる保育者になれるか不安な気持ちもあります。ですが、同じ志を持った多くの仲間と共に限られた時間を大切に、何事にも一生懸命励みたいと思います。

専攻科介護福祉事例発表会

事例発表会は専門学校時代から受け継がれ、専攻科として今年度で12回目を迎えることができました。例年、教職員、実習先の指導者、青葉自治会の方々、新専攻科生をお招きして開催されてきましたが、今年度は感染対策としてZoomでの配信となりました。また、学長、局長をはじめとした教職員の方々が会場に足を運んでくださったこと心より感謝申し上げます。

この会は、11月に行った介護実習での事例をまとめて発表するものです。実習では一人の対象者に寄り添い、あらゆる情報を収集し、介護計画を立案します。その方の生活が豊かになるような、その方の可能性が活かされるような支援を実施してきました。この発表会は、そんな学生の思いが詰まった1年の集大成とも言えます。

学生たちは堂々と発表し、まさに和泉での3年間の学びの成長を感じさせるものとなりました。専攻科進学当初、「お年寄りと何を話したらいいの?」と不安を抱いていた姿は感じられません。この1年、多くのことを学び、経験したことはこれからの介護者、支援者、保育者として大いに活かされるでしょう。そして、どのような立場の相手であっても「一人の人として愛せる」人に成長してくれたと確信しております。

(佐藤美紀 専攻科介護福祉専攻主任・准教授)



学修奨励奨学金、保育士修学資金、介護福祉士修学資金

2021年度前期 学修奨励奨学金受給学生

白井 琴音 / 安川 千尋 / 齋藤 美佳
小島 楓 / 菅原 愛子 / 佐々木祐奈

2021年度 保育士修学資金(決定者)

川崎市 村上 柗凜
石塚 歩美 / 小村 麻結 / 高須 実来
田中 愛花 / 村井 陽

東京都

宮内 美空 / 薄井千絵史
佐保麻友夏 / 戸塚 祐太

2021年度 介護福祉士修学資金(決定者)

神奈川県 瞳

人事

就任(2021年10月25日付)

深町 和哉 学術情報ユニットリーダー・IR担当
曾根真理子 教育・学習支援ユニットリーダー・IR担当
木村 文紀 庶務ユニット(経理担当)・法人担当・IR担当・サブリーダー
復職(2022年1月1日付)
中野 陽子 准教授

表彰

令和3年度相模原市社会福祉協議会顕彰

学校法人和泉短期大学
学校法人和泉短期大学
令和3年度全国保育士養成協議会会員校教職員(25年以上・60才以上)
栗林 直樹 (庶務ユニット 施設担当)

訃報

故 中佐古 礼子 氏
学校法人和泉短期大学元職員(学生寮職員、教務課、図書課、研究棟勤務)
(2021年1月22日)
故 木村 登美子 氏
木村文紀 庶務ユニットサブリーダー 御祖母
(2021年11月1日)
故 高松 はつ子 氏
八代陽子 准教授 御祖母
(2021年12月10日)
故 松岡 俊彦 氏
学校法人和泉短期大学元評議員・社会福祉法人さがみ愛育会会長
(2021年12月22日)
故 栗林 ヤエ 氏
栗林直樹 庶務ユニット(施設担当) 御母堂
(2022年1月27日)
故 佐藤 久雄 氏
渋谷智子 健康管理センター看護師・認定心理士 御尊父
(2022年1月28日)
主による平安をお祈りいたします。

2021年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額	3,000,000円
募金募集期間	2021年6月～2022年3月(第4期)
募金金額	1口5,000円
払込方法	郵便振替口座
	口座番号 00280-6-105705
	口座名 学校法人 和泉短期大学 愛のいずみ基金奨学金

寄付者一覧(敬称略) <2021年12月1日～2022年2月15日>

大谷 孝次/金成 泰宏/土橋 正文/永田 道/和泉短期大学後援会/匿名希望(1件) 以上6件 165,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
042-754-1133

2021年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2021年5月に学校法人和泉短期大学は創立65年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は19,623名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げる次第であります。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2021年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

みなさまには出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業	1. 1号館 教室ブラインド交換工事
	2. 1号館 教室照明器具 LED電球交換工事
	3. 1号館 小教室 ウイルス除去防臭装置設置工事

寄付者一覧(敬称略) <2021年12月1日～2022年2月15日>

遠藤 陽子/金成 泰宏/小井土智江子/土橋 正文 以上4件 40,000円

募金目標金額	10,000,000円
募金募集期間	2021年6月1日～2022年3月31日(第10期)
募金金額	1 個人 1口 5,000円 2 法人 1口 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
042-754-1133

公共職業訓練 神奈川県委託訓練「専門人材育成コース」(保育士)

和泉短期大学では2019年度から神奈川県公共職業訓練神奈川県委託訓練校に選定され、2022年3月に8名が訓練を修了し保育者として本学を巣立っていきました。

神奈川県委託訓練を修了して(第2期生)

委託訓練生

私は保育士の夢を持ちながら、全く別の仕事をしていました。家族の理解を得て、この先の未来に自分の夢を実現しつつ、社会貢献できる和泉での専門的な学びを習得できたこと、また、今までの私とは違う価値観、様々な考え方を学んだ経験はなにごとにも代え難い財産です。

この2年間、新型コロナウイルス感染による様々な制限があり、せっかくの大学生生活を満喫できなかったことは残念ですが、他学生と切磋琢磨しながら学んだことを活かし、保育者として楽しもうと思います。

委託訓練生

和泉での2年間は、私にとってかけがえのない時間となりました。なぜならば、一緒に切磋琢磨する友人や、叱咤激励をしてくださる先生方の存在があったからです。その環境の中で異年齢の同級生と一緒に学ぶことによって、受容や共感をしながら他者の発言を自分事のように考えたり、一緒に協力をして一つのことを成し遂げる大切さを学びました。卒業後は、和泉での学びを糧に日々精進していきたいと思っています。